

2007年度 早稲田大学 政治経済学部

日本史 解答例

I 遣唐使・武家諸法度 <やや易>

A 1 ①ウ ②イ 2 イ・ウ 3 ア・エ 4 エ 5 ウ 6 イ 7 イ・オ 8 オ

B 1 犬上御田歙 2 金地院崇伝(以心崇伝)

早稲田定番のテーマからの出題。難問はほとんどない。

II 江戸時代の経世思想 <やや易>

A 1 コ 2 ク 3 ク 4 ケ 5 カ 6 キ

B d ③ i ⑪ j ⑦

C 7 菱川師宣 8 入浜法 9 東山道

未見史料問題だが、設問文から史料の出典はわかるだろう。A 3のみが難問。

III 近代の軍制・経済 <やや易>

A 1 ハ 2 ロ 3 ロ 4 ニ 5 イ 6 ロ 7 ホ 8 イ

B a 貨幣法 b 大冶鉄山 c 鉄道国有法

A 8 がやや難しい。田中製鉄所とは、釜石鉄山が田中長兵衛に払い下げられて設立された釜石鉾山田中製鉄所のことである。

IV 大正・昭和前期の政党内閣 <やや易>

A 1イ 2ニ 3ロ 4ホ 5ニ

B 原・高橋両内閣の後、3つの非政党内閣を経て第二次護憲運動が起こり、加藤高明内閣から憲政の常道となった。しかし満州事変で政党と軍部・右翼の対立が強まると、1932年に血盟団事件が起こり、続く五・一五事件で犬養首相が暗殺されると政党内閣は終わった。(120字)

A 2は大問5題の中で最も難しい問題だった。一方Bの論述は、「論述問題は戦後の内閣」という前例を破る出題だった。いつのことまでを書くかが条件設定されていないため、解答作成に手こずった人もいるだろうが、テーマ自体は簡単なので高得点が狙えただろう。2008年度向けの対策としては、近現代全般に広げて論述対策を行う必要がある。

V 戦後の外交 <易>

A 1ニ 2ハ 3ホ 4ロ 5ハ 6ハ 7ロ 8ニ

B 1日華平和条約(日台平和条約) 2沖縄返還協定
3サンフランシスコ平和条約(サンフランシスコ講和条約)

A 1がやや難しいが、冬期講習の「テーマ別日本史(近現代)」で扱っていた内容である。

講評

一部に難問が見られるものの、全体としては非常に解きやすい問題だった。合格ボーダーラインが高く、9割得点も可能だったのではないか。実際、2問しか間違えなかったという報告も届いている。